

報道取材情報(沼津市)

東名高速道路 ^{あしたか}愛鷹スマートインターチェンジ ～ 開通 6 ヶ月の交通量及びストック効果について～

【沼津市 建設部 道路建設課】

ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に得られる効果

平成 28 年 3 月 19 日(土)に開通した東名高速道路 愛鷹(あしたか)スマートインターチェンジについて、開通後 6 ヶ月の交通量及びストック効果についてお知らせします。

<交通状況>

開通後 6 ヶ月間で平均約 3,300 台/日が利用

月別の利用量は堅調に伸びており、直近 1 ヶ月間は平均約 3,700 台/日が利用

<ストック効果>

アクセス向上による産業活動の支援

- ・片浜工業地域から東名高速道路沼津 IC までの所要時間が約 7 分短縮
- ・愛鷹スマート IC 周辺での企業立地による開発面積は、民間投資の誘発により平成 27 年度に比べ約 1.8 倍に増加
- ・ビッグデータ(ETC 2.0 プローブ情報)を活用し分析した結果、国道 1 号(東京方面)の朝ピーク時(7 時～9 時)において一部走行速度が改善

安定した救急搬送を支援

- ・愛鷹スマート IC 開通後、沼津市立病院から静岡県立こども病院までの転院搬送時間が最大で約 16 分短縮、転院搬送時間のばらつきは 26 分から 5 分に改善され、搬送時の定時性を確保

お問い合わせ先

【沼津市スマートインターチェンジ地区協議会事務局】

担 当：沼津市建設部道路建設課道路企画係

電話番号：055-934-4776

FAX 番号：055-934-4782

電子メール：douro@city.numazu.lg.jp

1. 愛鷹スマートIC 6ヶ月の交通量について【愛鷹スマートIC】

参考資料1

◇愛鷹スマートICの利用交通量

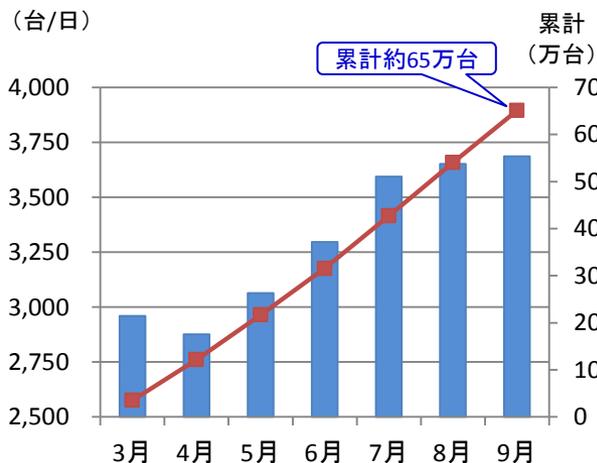
- 開通後(6ヶ月間※1) 約3,300台/日 (計画交通量3,800台/日)
- 直近1ヶ月間※2では、約3,700台/日が利用



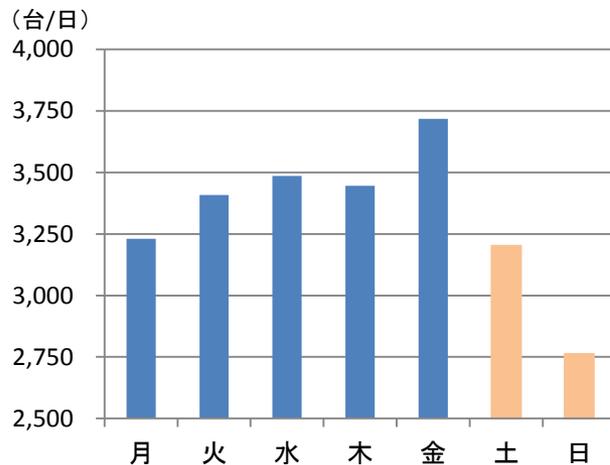
◇交通量・利用圏域について

- 開通から6ヶ月で累計約65万台の利用台数があり、月別でも交通量は堅調に伸びている (表1)
- 曜日別交通量から、土日に比べ、平日に多く利用されている (表2)
- 方向別では、静岡方面の利用がやや多い (表3)

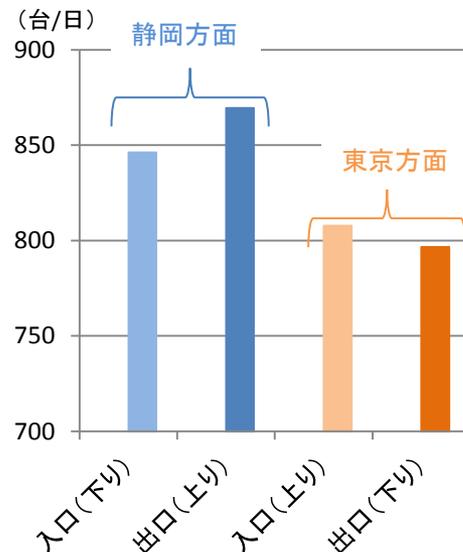
【表1 月別平均・累計利用台数】



【表2 曜日別】



【表3 方向別】



※1: 開通後6ヶ月データ 3/20~9/30

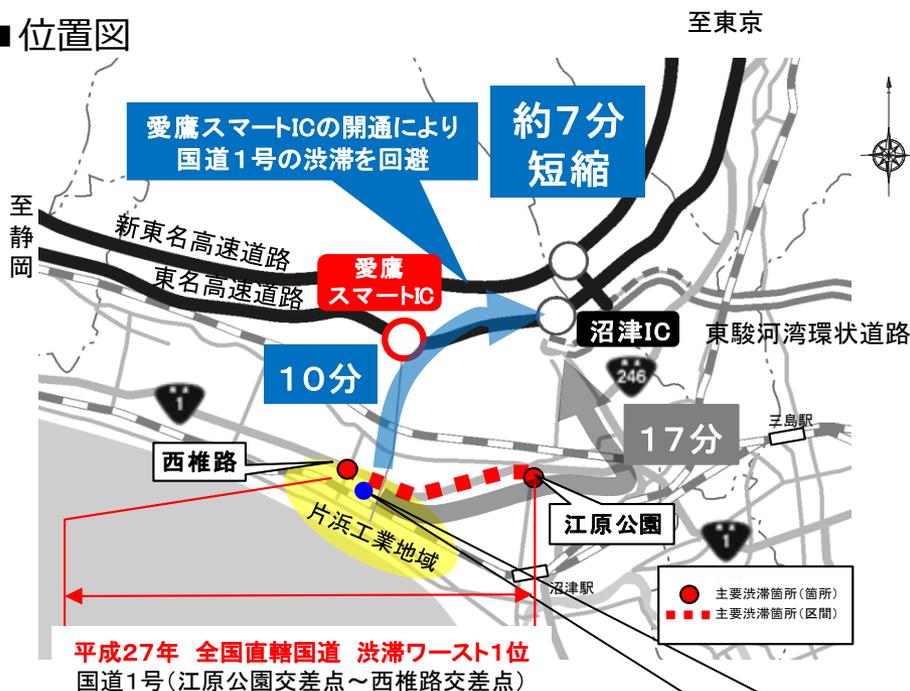
※2: 直近1ヶ月間データ 9/1 ~9/30

出典: 中日本高速道路東京支社データ

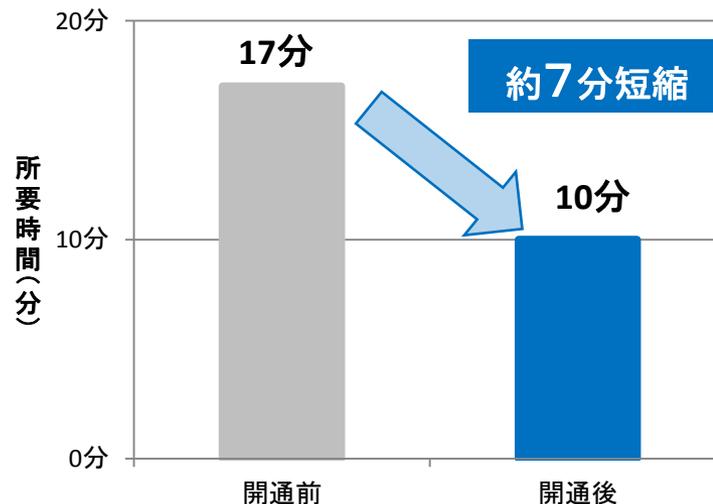
2. 東名高速道路へのアクセス向上【愛鷹スマートIC】

- 片浜工業地域は、愛鷹スマートICの開通により、**全国直轄国道渋滞ワースト1位の国道1号**（江原公園交差点～西椎路交差点）を經由せず、東名高速道路のアクセスが可能
- 愛鷹スマートICの開通により、片浜工業地域から沼津ICまでの**所要時間が約7分短縮**
- 東京方面の国道1号においては、朝のピーク時（7時～9時）で一部**走行速度が改善**（参考資料3）

■ 位置図



■ 片浜工業地域から東名高速道路沼津ICまでの所要時間



出典：沼津市調査(開通前：平成24年4月17日、開通後：平成28年8月31日)

【国道1号混雑状況】(江原公園交差点付近)

【企業の声】(株)コーゲツ

(業務用食品卸売業)

- ・ 御殿場市、静岡市などに学校給食の食材の配送などに毎日利用しており、約20分の時間短縮を感じます。
- ・ 指定時間内に配送しなければならぬが、**愛鷹スマートICを利用することで、時間を読みやすくなりました。**
- ・ 配送効率が良くなり、**残業時間が少なくなりました。**



出典：企業ヒアリング結果



静岡方面



箱根方面

3. 愛鷹スマートIC開通後の利用圏域・国道1号の変化

- 愛鷹スマートICの開通により、沼津IC利用圏域のうち、沼津市西部地域の交通が愛鷹スマートICに転換
- 全国直轄国道渋滞ワースト1位の国道1号(市立病院南交差点～江原公園交差点)の東京方面においては、朝のピーク時(7時～9時)で一部走行速度が改善

【検証結果①】

○ 愛鷹スマートICの開通により、沼津IC・愛鷹スマートICを利用する東京方面の交通分担率を分析



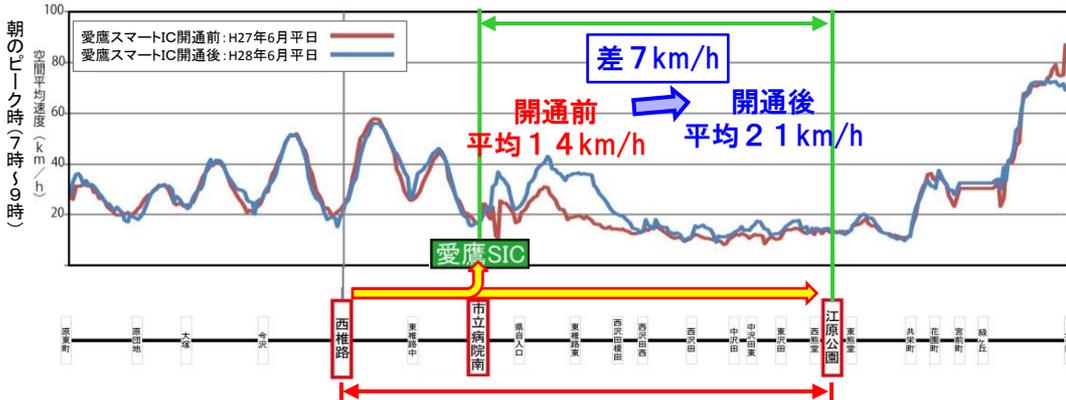
東京方面において12%の交通が転換

【検証結果②】

○ 国道1号東京方面で、朝のピーク(7時～9時)の時間帯に着目し速度を分析

市立病院南交差点～江原公園交差点間における速度約7km/hの改善を確認

【愛鷹スマートIC開通による空間平均速度の変化(国道1号:東京方面)】

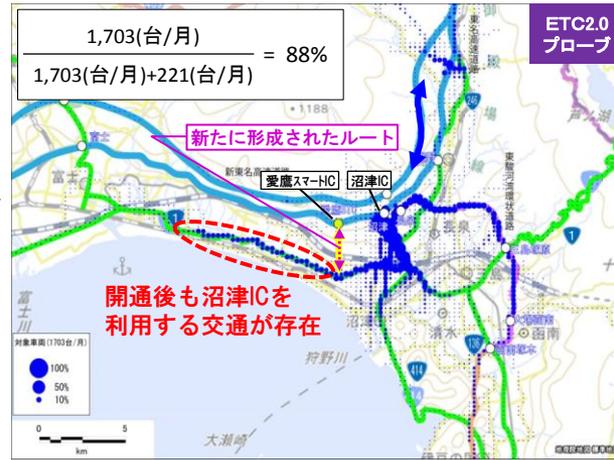


全国直轄国道渋滞ワースト1位の国道1号(西椎路交差点～江原公園交差点)

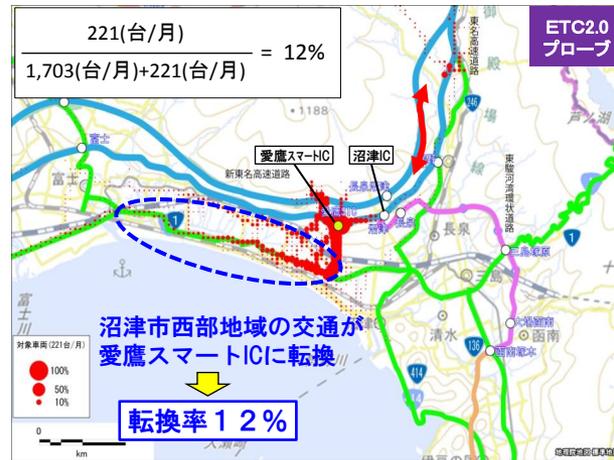
【愛鷹スマートIC開通前(H27年6月:平日) 沼津IC利用圏域】



【愛鷹スマートIC開通後(H28年6月:平日) 沼津IC利用圏域】



【愛鷹スマートIC開通後(H28年6月:平日) 愛鷹SIC利用圏域】



資料提供: 国土交通省(ETC2.0プローブ情報)

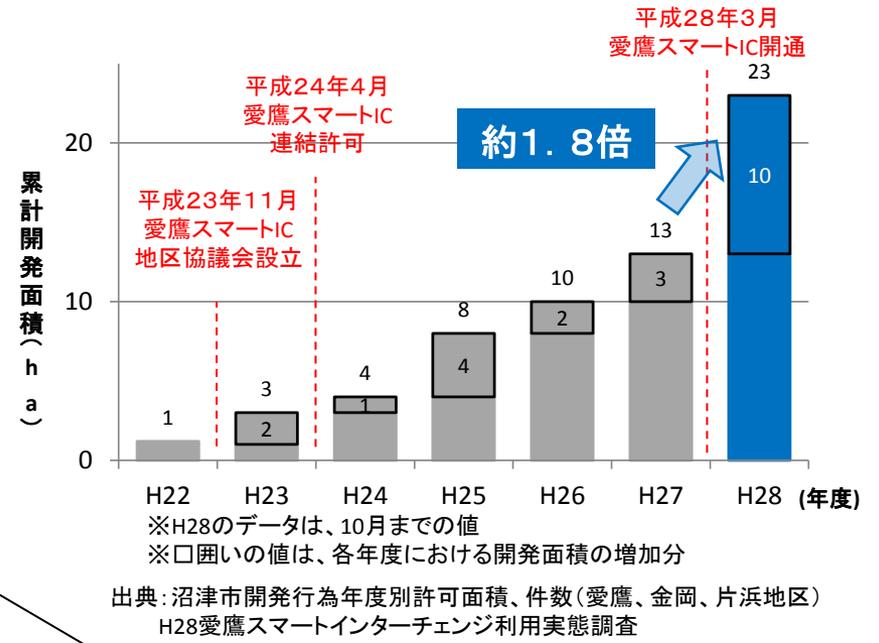
4. 愛鷹、片浜、金岡地区の企業立地・開発が増加【愛鷹スマートIC】 参考資料4

- 愛鷹スマートICの周辺の開発立地件数は46件（H22年～H28年10月時点）
- H28年の愛鷹スマートIC周辺における開発面積は、民間投資の誘発により開通前のH27年に比べ約1.8倍

■ 愛鷹スマートIC周辺の開発立地件数※



■ 愛鷹スマートIC周辺（愛鷹、片浜、金岡）の開発面積の推移



※沼津市愛鷹地区、金岡地区、片浜地区におけるH22～H28(10月時点)の開発件数

● 愛鷹スマートIC周辺開発地

出典：企業ヒアリング結果

【企業の声】

- 愛鷹ファームヴィレッジ(仮) 宅地、農園、店舗(約8.7ha) H28.10許可 H30.4オープン予定
- 農産物の販売を予定しており、利用者は、地域住民の他に首都圏からの来場者を対象としております。
- 愛鷹スマートICの開通による高速道路からのアクセス向上を前提に立地を決めています。
- 高速道路から1分の位置条件は、新鮮な農産物の輸送にも大きな利点となります。



5. 安定した救急搬送を支援【愛鷹スマートIC】

- 小児医療専門の治療を要する患者は、三次救急医療機関である沼津市立病院から静岡県立こども病院へ転院搬送する必要がある
- 愛鷹スマートIC開通後、沼津市立病院から静岡県立こども病院までの**転院搬送時間が最大で約16分短縮**、**転院搬送時間のばらつきは26分から5分に改善され**、搬送時の定時性を確保

■ 愛鷹スマートICを利用した転院搬送状況



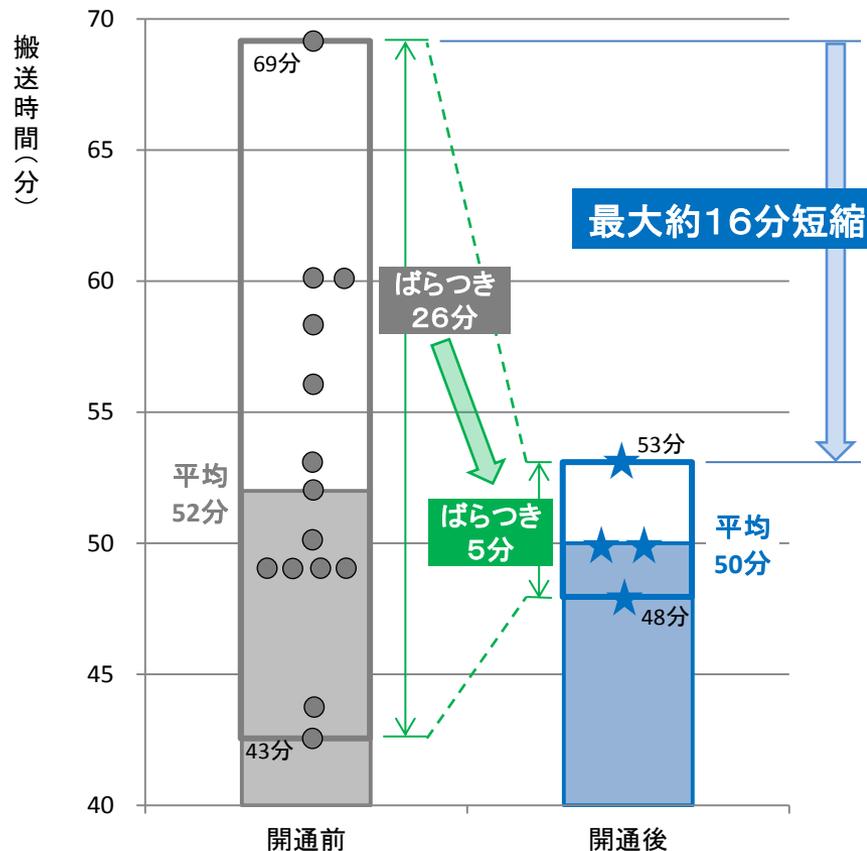
出典：駿豆消防本部資料(開通前後の転院搬送時間)
開通前：平成27年1月～12月までの平均搬送時間
開通後：平成28年1月～8月までの平均搬送時間

【消防署員の声】

- 小児医療専門の治療を要する患者を、沼津市立病院から静岡県立こども病院への転院搬送に利用しています。
- 転院搬送では医師も同乗するが、高速道路の利用により、ブレーキを踏む回数が少なく**安定した搬送**となるため、**患者への負担も軽**くなりました。
- 開通後は、すべて愛鷹スマートICを利用しており、従来に比べ**搬送時間が短縮**したとともに、**安全な搬送が確実**に行えるようになりました。

出典：駿東伊豆消防本部ヒアリング結果

■ 沼津市立病院から静岡こども病院までの搬送時間



● 開通前：平成27年1月～12月までの転院搬送回数及び搬送時間

★ 開通後：平成28年1月～8月までの転院搬送回数及び搬送時間

出典：駿豆消防本部資料(開通前後の転院搬送時間)